

全国学校薬剤師会会長会報告書

会長 西村正広

日時：平成16年11月13日(土) 11:00～15:00

場所：赤坂プリンスホテル

議題：

日本学校薬剤師会 事務移管の件

事務移管に関して、今までの経緯が報告された。意見を求められたので、別紙の覚え書に、「日本薬剤師会と日本学校薬剤師会は、相互に独立した組織である。」とあるが法人化して、独立するのか質問いたしました。法人化は当面しないということでした。各県の現状及び意見を聞いて閉会されました。翌日の理事会が検討することになりました。各県とも会費の値上げに影響することが、一番の争点になっているような気が致しました。将来的に法人化する気持ちがないのであれば、日本薬剤師会の学薬部会ということで、事務移管は、積極的に行わない方が良いという意見のようでした。

日本学校薬剤師会事務処理等の移管について

標記の件につきましては、すでに昨年より日本学校薬剤師会に口頭で度々お願いしているところではありますが、今般、貴会杉下会長より文書の提出を求められましたので、本書をもって連結いたします。

日本学校薬剤師会の会務運営に関わる諸業務は、かねてより日本薬剤師会（以下、「日薬」という）が代行して参りました。今回この代行を取り止め、総ての業務を貴会に移管することにいたしました。

移管の事由は、独立した団体である貴会の会務を代行することが、日薬の事業として適当でないことに加え、日薬業務の事務処理等の過飽和状態の適正化と財政状態の改善を意図したためであります。

貴会との経過は逐一、日薬正副会長常務理事打合会において報告してきましたが、最近会務運営上の問題点として早急の改善を望む声が出出して参りました。事態が切迫しつつあるため至急の展開を願っております。

移管に伴い、暫時の間、日薬の事務所内に事務机等を設備して、貴会職員等で貴会会務の事務処理等ができる様に、即刻準備いたします。

貴会におかれましても、事情ご賢察の上、早急に移管事項の受取りのご手配をなされるよう、特段にお願いするところでもあります。

末筆ながら、貴会並びに学校薬剤師各位の活動に深甚の敬意を表すると共に、今後の業務の一層の充実とご発展を祈念して擱筆いたします。

社団法人 日本薬剤師会
会長 中西 敏 夫